

# 令和2年度特許調査実践研修 実施報告

令和3年3月

令和2年度、大阪工業大学と連携して、特許調査実践研修をオンラインにて実施しました。当該研修は、知的財産実務の経験が浅い企業等の知的財産担当者や特許事務所等のリーガルアシスタントなど、知的財産権制度の知識を有する者を対象とし、特許出願前から特許取得、権利活用に至るまでに必要となる特許審査基準に基づいた特許性判断や、効率的な特許調査を的確に行うことができる人材の育成を目的とした研修です。

1. 研修の概要		
(1)日程	10月13日～15日(3日間)	
(2)開催方法	オンライン	
(3)申込人数	23名	
(4)参加人数	22名	
(5)講師	4名	
2. アンケート結果		
(1)研修全体として	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	1名	5%
・知識や能力が向上した (有意義であった)	15名	79%
・どちらとも言えない	3名	16%
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	0名	0%
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%
・無回答	3名	—
(2)主な意見・要望	・今までと違った視点で先行技術調査を学ぶことができ、また、検索式作成について新たな気付きを得ることができ、非常に勉強になった。 ・演習においては、限られた時間の中で出来得るアウトプットを出すことの難しさを感じる事が出来た。 ・テキストの内容や講師の説明が非常に丁寧だったので、後からの振り返りが非常にし易いと思われる。 ・所属組織や立場の違う他の受講生と会話でき、そこから情報を得ることができてよかった。 ・オンライン研修なので、コロナを気にせず受講できた。	
(3)アンケート回収率	19名	86%